# 平成 30 年度　第５回広島市感染症対策協議会

平成 30 年９月 18 日

【日　時】　平成 30 年９月 18 日（火）19:00～20:00
【場　所】　広島市役所 14 階第７会議室
【出席者】　小林　正夫、坂口　剛正、髙橋　宏明、佐藤　貴、堂面　政俊、増田　裕久、藤本　三喜夫、安井　耕三、松原　啓太

## １　感染症に関する最近の情報《公開》

### （１）風しん対策について（資料１　Ｐ１～12）

2018 年９月５日現在、全国の風疹患者累積報告数は 362 人と平成 26～29 年の年間累積報告数を超え、平成 25 年の流行以降では最多の報告数となっている。本市においても平成 30 年８月 27 日以降、３件の風しん患者発生届出があった。３件とも海外渡航歴はなく国内感染と推定されるが、現在のところ、感染の拡大は確認されていない。

このような状況を踏まえ、国は平成 30 年８月 14 日付けで「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起について（協力依頼）」を発出した。これに基づき、本市では、医師会を通じ、各医療機関に対し、発熱や発しんを呈する患者を診察した際は、風しんにかかっている可能性を念頭に置いた診療を行っていただくよう依頼した。併せて、ホームページ等により、これまで風しんにかかったことがなく、予防接種を受けていない年代の方について、この機会にワクチン接種を検討いただくよう周知した。

（委員意見）

最も懸念されることは、妊婦が風しんに感染し、出生児が先天性風しん症候群（CRS）を引き起こすことであるため、妊娠を希望する女性に対してはもちろんのこと、引き続き、広く市民に対し予防啓発を行ってほしい。

### （２）韓国における中東呼吸器症候群（MERS）患者の発生について（資料１　P13～30）

平成30年９月８日、韓国疾病予防管理センターは、中東から韓国内への帰国者において、MERS患者１名が確認されたと発表した。韓国当局は当該患者と濃厚に接触した者について、14日間の自宅隔離を行っているが、この中に日本人は含まれていないとのことである。

MERS発生地域から帰国し、国内に入国後、疑わしい症状がある場合には、早期に医療機関を受診し、適切な診断及び治療を受けることが重要であることから、本発表を受け、本市においては、MERSに罹患した疑いのある患者が発生した場合の対応について確認を行った。

（委員意見）

特になし。

### （３）平成 29 年結核登録者情報調査年報集計結果について（資料１　P31～59）

平成 30 年８月 28 日、厚生労働省は、平成 29 年の結核登録者情報調査年報集計結果について公表した。

集計結果によると、平成 29 年の全国の結核新登録患者数は前年（平成 28 年）より 836 人減の 16,789 人となり、り患率（人口 10 万人対）は、前年より 0.6 ポイント減少し、13.3 となった。国は結核の予防指針により、2020 年までにり患率 10 以下を目標としており、なお一層の結核対策を進める必要があるとの認識である。

本市における平成 29 年の新登録患者数は、昨年と同数の 109 人であった。り患率についても昨年と同様、9.1 であった。（広島県は 0.1 ポイント減少し、11.3 である）

患者数及び罹患率が着実に減少している一方で、患者の高齢化及び若い世代の外国人（フィリピン、ベトナム、中国）患者の増加が課題となっている。

（委員意見）

先進諸外国の結核罹患率は10以下となっているなか、日本も低まん延国化を目指し、今後も更なる対策が必要である。

（４）豪雨災害に伴う生活衛生に関する被災者支援について（資料１　P60）

平成30年７月豪雨に伴う被災者健康支援として、本市保健部の職員（食品衛生監視員、環境衛生監視員等）で生活衛生班を組織し、避難所及び被災者宅周辺における生活衛生全般（生活環境衛生、家屋の消毒、食品衛生等）に関する相談等について、７月 10 日から、巡回により指導助言等の対応を行っている。

平成 30 年９月 10 日現在、避難所における生活衛生指導を 181 件、浸水家屋に対する消毒指導件数を 330 件、井戸水の水質検査を 65 件実施している。

災害発生から二ヶ月が経過し、ニーズが減少傾向にあるが、被災者が一刻も早く元の生活に戻れるよう、引き続き支援を継続していく。

（委員意見）

引き続き、被災者の要望に応じた支援を継続してほしい。

２　８月の定点把握対象感染症発生状況《公開》（資料２、３）

※感染症法に定められた感染症のうち、指定された医療機関のみが報告を行う感染症

| 区分 | 病　　名 | ８月分 | ９月分 |
|---|---|---|---|
| | | 報告 8/6～9/2 | 報告日 9/3～9/13 現在 |
| ２類 | 結核 | １０人<br>（結核１０人、潜在性結核０人） | |
| ３類 | 腸管出血性大腸菌感染症 | １人（8/22） | ２人（9/7、9/7） |
| ４類 | デング熱 | １人（8/27） | |
| | 日本紅斑熱 | １人（9/1） | |
| | レジオネラ | ２人（8/16、8/22） | ２人（9/6、9/12） |
| | Ｅ型肝炎 | | １人（9/10） |
| ５類 | アメーバ赤痢 | １人（8/31） | |
| | 後天性免疫不全症候群 | ２人（8/13、8/24） | １人（9/10） |
| | 梅毒 | ８人（8/8、8/10、8/16、8/21、8/23、8/27、8/28、8/30） | １人（9/10） |
| | 百日咳 | ８人（8/9、8/13、8/13、8/20、8/20、8/27、8/27、8/29） | |
| | 風しん | １人（8/28） | ２人（9/3、9/7） |

３　全数把握対象感染症の発生状況《公開》

（　）は届出日

４　その他《公開》

次回開催予定日　平成 30 年 10 月 15 日（月）　14 階第７会議室

【資料】

資料１：最近の感染症情報

資料２：８月の感染症の概要

資料３：定点把握五類感染症（月報対象）の長期的変動

# 広島市感染症対策協議会コメント（９月分）

平成３０年９月１８日

## １　患者情報

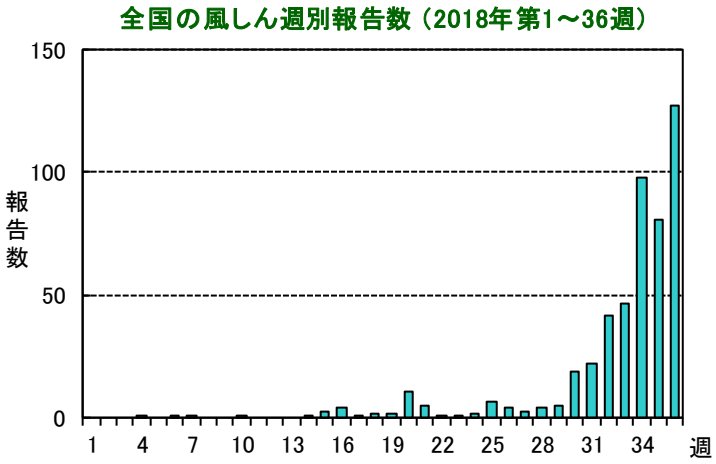
### (1) 概要

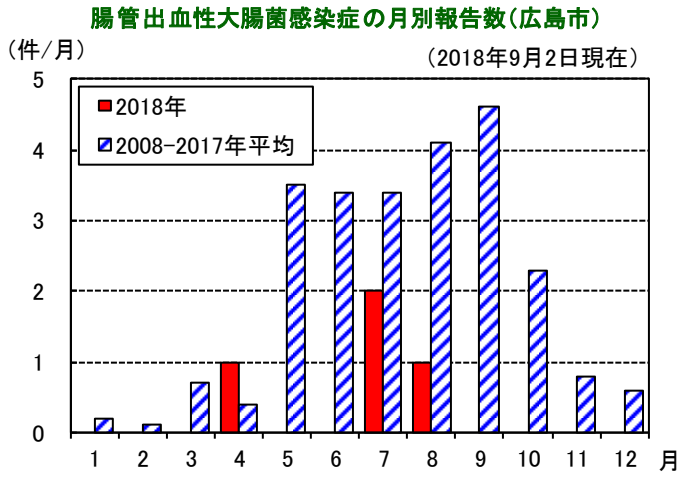
定点からの内科・小児科・眼科系疾患の患者報告数は、8月は1,022人で、前月比0.80とやや減少した。

流行性角結膜炎は増加、突発性発しんはやや増加、感染性胃腸炎、水痘、ＲＳウイルス感染症はほぼ横ばい、インフルエンザ、Ａ群溶血性レンサ球菌咽頭炎はやや減少、手足口病、ヘルパンギーナは減少、咽頭結膜熱は大きく減少した。

### (2) 特記事項

- 首都圏を中心に、風しん患者の報告数が大きく増加している。特に、第30週(7月23日～7月29日)以降急増し、第36週(9月3日～9月9日)現在の累計報告数は496件となった。患者の約8割が男性で、特に30～50代が多く、女性では20代が多くなっている。風しんは、飛沫感染でヒトからヒトへ感染し、2～3週間の潜伏期間の後、発熱や発しん、リンパ節の腫れなどの症状が出現する。一般的に、風しんは予後良好な感染症であるが、妊娠初期の妊婦に感染することで、出生児が難聴・白内障・先天性心疾患等の先天性風しん症候群を発症する可能性があるため、特に注意が必要である。風しん予防には、予防接種が最も効果的であることから、定期予防接種対象者は早めに接種を受けることを推奨する。また、妊婦を守る観点から、風しんにかかったことがなく、予防接種を受けていない人は予防接種を受け、風しんの感染拡大を防止することが重要である。なお、広島市では、第36週現在、7件報告されている。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1件あり、今年の累計報告数は4件となった。例年、10月頃までは報告数が多い傾向にあるため、引き続き、手洗いの励行や食品は十分に加熱するなど、感染予防対策を徹底することが重要である。
- ＲＳウイルス感染症は、第36週(9月3日～9月9日)に定点当たり1.92人の報告があった。全国的にも増加しており、引き続き、注意が必要である。手洗いの励行や咳エチケット、おもちゃや手すりなどをこまめに消毒するなど、感染予防対策を徹底することが重要である。




### (3) ８月の１類～５類感染症（全数報告）患者発生数

１類感染症：なし
２類感染症：結核 10件（患者：10件、潜在性結核：0件）
３類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1件
４類感染症：デング熱 1件　　日本紅斑熱 1件　　レジオネラ症 2件
５類感染症：アメーバ赤痢 1件　　後天性免疫不全症候群 2件
　　梅毒 8件　　百日咳 8件　　風しん 1件

### (4) 今後の流行予測

ＲＳウイルス感染症・・・【流行中】

## ２　検査情報

８月の検査結果判明分

| 臨床診断名 | 検出病原体 | 検体採取月 | 患者数 |
|---|---|---|---|
| Ａ群溶連菌咽頭炎 | A 群溶血性レンサ球菌 | 7 月 | 1 人 |
| 感染性胃腸炎 | ＊ アデノウイルス 2 型 | 5 月 | 1 人 |
| | ＊ ノロウイルス GⅡ | | |
| 手足口病 無菌性髄膜炎 | エンテロウイルス 71 型 | 6 月 | 1 人 |
| 手足口病 | エンテロウイルス 71 型 | 7 月 | 1 人 |
| ヘルパンギーナ | コクサッキーウイルス A2 型 | 6 月 | 1 人 |
| 流行性角結膜炎 | アデノウイルス 54 型 | 6 月 | 1 人 |
| 無菌性髄膜炎 | エコーウイルス 18 型 | 7 月 | 1 人 |
| その他の呼吸器疾患　（肺炎） | アデノウイルス 64 型 | 6 月 | 1 人 |
| その他の呼吸器疾患　（喘息） | ライノウイルス | 7 月 | 1 人 |
| その他の疾患 | エコーウイルス 11 型 | 7 月 | 1 人 |

＊：複数病原体検出例

10 人の患者から 9 種類のウイルス 10 株及び 1 種類の細菌 1 株が検出された。検出ウイルスの内訳は、エンテロウイルス 71 型 2 株、アデノウイルス 2 型、同 54 型、同 64 型、ノロウイルス GⅡ、コクサッキーウイルス A2 型、エコーウイルス 11 型、同 18 型及びライノウイルス各 1 株であった。検出細菌の内訳は、A 群溶血性レンサ球菌 1 株であった。

# 5類感染症定点情報
# （平成30年8月解析分）

1．週報対象（第32週～第35週）

| No. | 疾患名 | 発生記号 | 報告数 | 定点当たり | 今後の予測 | No. | 疾患名 | 発生記号 | 報告数 | 定点当たり | 今後の予測 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | インフルエンザ | ↘ | 21 | 0.60 | | 10 | 流行性耳下腺炎 | | 14 | 0.61 | |
| 2 | 咽頭結膜熱 | ↓ | 27 | 1.16 | | 11 | RSウイルス感染症 | → | 146 | 6.25 | 流→ |
| 3 | A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 | ↘ | 166 | 7.08 | | 12 | 急性出血性結膜炎 | | 2 | 0.26 | |
| 4 | 感染性胃腸炎 | → | 316 | 13.39 | | 13 | 流行性角結膜炎 | ↗ | 52 | 6.51 | |
| 5 | 水痘 | → | 21 | 0.90 | | 14 | 細菌性髄膜炎 | | － | － | |
| 6 | 手足口病 | ↘ | 122 | 5.22 | | 15 | 無菌性髄膜炎 | | － | － | |
| 7 | 伝染性紅斑 | | 5 | 0.21 | | 16 | マイコプラズマ肺炎 | | 5 | 0.71 | |
| 8 | 突発性発しん | ↗ | 37 | 1.57 | | 17 | クラミジア肺炎 | | － | － | |
| 9 | ヘルパンギーナ | ↘ | 66 | 2.83 | | 18 | 感染性胃腸炎（ロタウイルス） | | 2 | 0.28 | |

2．月報対象（8月）

| No. | 疾患名 | 発生記号 | 報告数 | 定点当たり |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 性器クラミジア感染症 | ↗ | 44 | 4.89 |
| 2 | 性器ヘルペスウイルス感染症 | ↘ | 13 | 1.44 |
| 3 | 尖圭コンジローマ | | 12 | 1.33 |
| 4 | 淋菌感染症 | | 13 | 1.44 |
| 5 | メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | → | 19 | 2.71 |
| 6 | ペニシリン耐性肺炎球菌感染症 | | 1 | 0.14 |
| 7 | 薬剤耐性緑膿菌感染症 | | － | － |

発生記号

| | | |
|---|---|---|
| 前月と比較しておおむね1：2以上の増減 | ↑ | ↓ |
| 前月と比較しておおむね1：1．5～2の増減 | ↗ | ↘ |
| 前月と比較しておおむね1：1．1～1．5の増減 | ↗ | ↘ |
| ほぼ横ばい（発生件数少数のものを含む） | → | |

予測記号

| | |
|---|---|
| 流行始まり | 流↗ |
| 流行中 | 流→ |
| 流行終息傾向 | 流↘ |
| 終息 | 終 |

# 全数把握感染症報告数（平成30年8月分）

第32週～第35週（8月6日～9月2日）報告分

| 類型 | | 疾患名 | 広島市 | | 全国 | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 報告数 | 累積 | 報告数 | 累積 |
| 一類 | 1 | エボラ出血熱 | － | － | － | － |
| | 2 | クリミア・コンゴ出血熱 | － | － | － | － |
| | 3 | 痘そう | － | － | － | － |
| | 4 | 南米出血熱 | － | － | － | － |
| | 5 | ペスト | － | － | － | － |
| | 6 | マールブルグ病 | － | － | － | － |
| | 7 | ラッサ熱 | － | － | － | － |
| 二類 | 8 | 急性灰白髄炎 | － | － | － | － |
| | 9 | 結核 | 10 | 93 | 1,657 | 14,310 |
| | 10 | ジフテリア | － | － | － | － |
| | 11 | 重症急性呼吸器症候群 | － | － | － | － |
| | 12 | 中東呼吸器症候群 | － | － | － | － |
| | 13 | 鳥インフルエンザ（H5N1） | － | － | － | － |
| | 14 | 鳥インフルエンザ（H7N9） | － | － | － | － |
| 三類 | 15 | コレラ | － | － | － | 3 |
| | 16 | 細菌性赤痢 | － | － | 12 | 111 |
| | 17 | 腸管出血性大腸菌感染症 | 1 | 4 | 984 | 2,681 |
| | 18 | 腸チフス | － | 1 | 1 | 22 |
| | 19 | パラチフス | － | － | 2 | 14 |
| 四類 | 20 | E型肝炎 | － | 2 | 29 | 291 |
| | 21 | ウエストナイル熱 | － | － | － | － |
| | 22 | A型肝炎 | － | 1 | 95 | 706 |
| | 23 | エキノコックス症 | － | － | 1 | 8 |
| | 24 | 黄熱 | － | － | － | － |
| | 25 | オウム病 | － | － | － | 5 |
| | 26 | オムスク出血熱 | － | － | － | － |
| | 27 | 回帰熱 | － | － | 1 | 5 |
| | 28 | キャサヌル森林病 | － | － | － | － |
| | 29 | Q熱 | － | － | 2 | 3 |
| | 30 | 狂犬病 | － | － | － | － |
| | 31 | コクシジオイデス症 | － | － | － | 2 |
| | 32 | サル痘 | － | － | － | － |
| | 33 | ジカウイルス感染症 | － | － | － | － |
| | 34 | 重症熱性血小板減少症候群 | － | － | 6 | 58 |
| | 35 | 腎症候性出血熱 | － | － | － | － |
| | 36 | 西部ウマ脳炎 | － | － | － | － |
| | 37 | ダニ媒介脳炎 | － | － | － | 1 |
| | 38 | 炭疽 | － | － | － | － |
| | 39 | チクングニア熱 | － | － | 2 | 3 |
| | 40 | つつが虫病 | － | 1 | 3 | 97 |
| | 41 | デング熱 | 1 | 2 | 31 | 109 |
| | 42 | 東部ウマ脳炎 | － | － | － | － |
| | 43 | 鳥インフルエンザ（H5N1及びH7N9を除く。） | － | － | － | － |
| | 44 | ニパウイルス感染症 | － | － | － | － |
| | 45 | 日本紅斑熱 | 1 | 4 | 47 | 163 |
| | 46 | 日本脳炎 | － | － | － | － |
| | 47 | ハンタウイルス肺症候群 | － | － | － | － |
| | 48 | Bウイルス病 | － | － | － | － |
| | 49 | 鼻疽 | － | － | － | － |
| | 50 | ブルセラ症 | － | － | 1 | 3 |
| | 51 | ベネズエラウマ脳炎 | － | － | － | － |
| | 52 | ヘンドラウイルス感染症 | － | － | － | － |
| | 53 | 発しんチフス | － | － | － | － |
| | 54 | ボツリヌス症 | － | － | － | 2 |
| | 55 | マラリア | － | － | 7 | 33 |
| | 56 | 野兎病 | － | － | － | － |
| | 57 | ライム病 | － | － | 2 | 7 |
| | 58 | リッサウイルス感染症 | － | － | － | － |
| | 59 | リフトバレー熱 | － | － | － | － |
| | 60 | 類鼻疽 | － | － | － | 2 |
| | 61 | レジオネラ症 | 2 | 26 | 142 | 1,261 |
| | 62 | レプトスピラ症 | － | － | 3 | 5 |
| | 63 | ロッキー山紅斑熱 | － | － | － | － |
| 五類 | 64 | アメーバ赤痢 | 1 | 7 | 69 | 560 |
| | 65 | ウイルス性肝炎 | － | 2 | 23 | 152 |
| | 66 | カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 | － | 5 | 234 | 1,298 |
| | 67 | 急性弛緩性麻痺（急性灰白髄炎を除く。） | － | － | 11 | 29 |
| | 68 | 急性脳炎 | － | 4 | 44 | 488 |
| | 69 | クリプトスポリジウム症 | － | － | － | 11 |
| | 70 | クロイツフェルト・ヤコブ病 | － | 3 | 13 | 141 |
| | 71 | 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 | － | 5 | 43 | 485 |
| | 72 | 後天性免疫不全症候群 | 2 | 7 | 110 | 870 |
| | 73 | ジアルジア症 | － | － | 8 | 52 |
| | 74 | 侵襲性インフルエンザ菌感染症 | － | 1 | 31 | 330 |
| | 75 | 侵襲性髄膜炎菌感染症 | － | － | － | 25 |
| | 76 | 侵襲性肺炎球菌感染症 | － | 9 | 149 | 2,327 |
| | 77 | 水痘（入院例に限る。） | － | 1 | 40 | 291 |
| | 78 | 先天性風しん症候群 | － | － | － | － |
| | 79 | 梅毒 | 8 | 78 | 546 | 4,523 |
| | 80 | 播種性クリプトコックス症 | － | 1 | 18 | 126 |
| | 81 | 破傷風 | － | 1 | 11 | 77 |
| | 82 | バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症 | － | － | － | － |
| | 83 | バンコマイシン耐性腸球菌感染症 | － | 1 | 10 | 50 |
| | 84 | 百日咳 | 8 | 38 | 1,339 | 5,568 |
| | 85 | 風しん | 1 | 5 | 266 | 362 |
| | 86 | 麻しん | － | － | 2 | 203 |
| | 87 | 薬剤耐性アシネトバクター感染症 | － | － | 2 | 14 |